

「国土交通省行政インターネットモニター」アンケート調査（平成31年1月実施）

「地理空間情報の利用に関する調査」の結果について

国土地理院は、これまでも地図や空中写真（航空写真）などのさまざまな地理空間情報を、国の機関、地方公共団体及び国民のみなさまへ提供することを通じて、国民生活の向上や国民の安全・安心への施策を実施してきました。

今回は、国土地理院から提供している空中写真をはじめ、地形図、古地図、地理院タイルなどの利用者ニーズや効果的な地理空間情報の普及・啓発の手段について、モニターの皆様にアンケートを実施させていただきました。

調査に御協力いただきましたモニターの皆様には、大変感謝申し上げます。

今回のアンケート結果は、より多くの方々に地理空間情報を利用していただくため、検討・企画立案の際の参考とさせていただきます。

アンケート集計結果は以下のようになりましたので、御報告いたします。

1. 調査概要

（1）実施時期：平成31年1月22日～2月12日

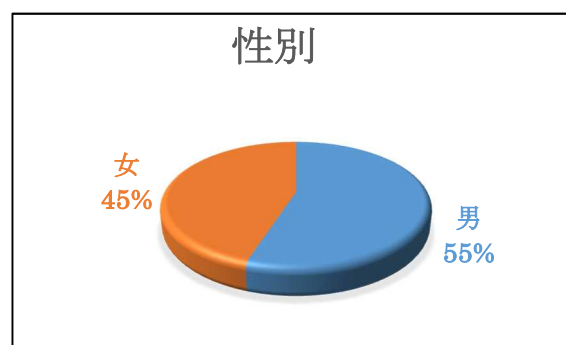
（2）対象者：1,069名

（3）回答者：943名

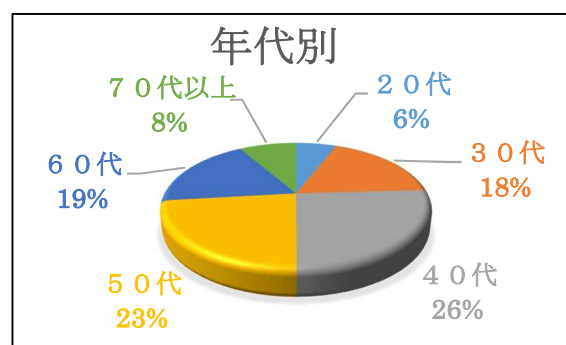
（4）回答率：88.2%

2. 調査結果

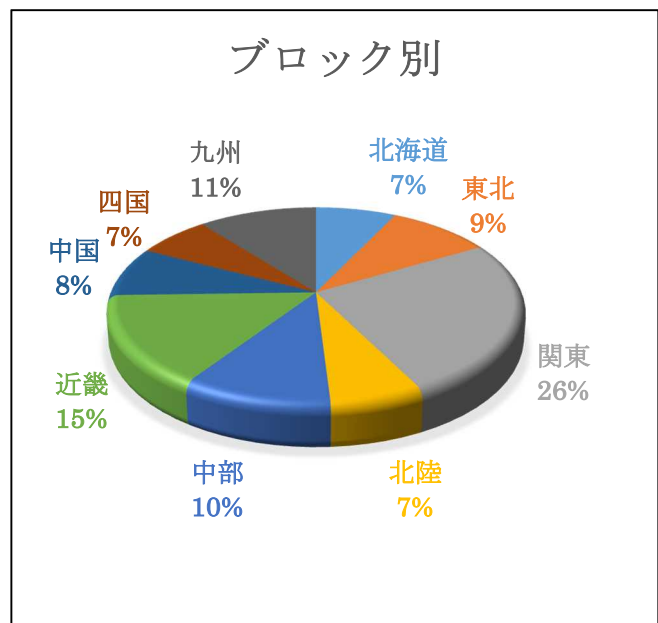
性別	回答数（名）
男性	519
女性	424
計	943



年代	回答数（名）
20代	56
30代	171
40代	244
50代	219
60代	174
70代以上	79
計	943



ブロック	回答数（名）
北海道	6 8
東北	8 9
関東	2 4 3
北陸	6 2
中部	9 9
近畿	1 4 2
中国	7 6
四国	6 3
九州	1 0 1
計	9 4 3



※本調査の地域別のブロック定義は以下のとおり。

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県

北陸：新潟県、富山県、石川県

中部：岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

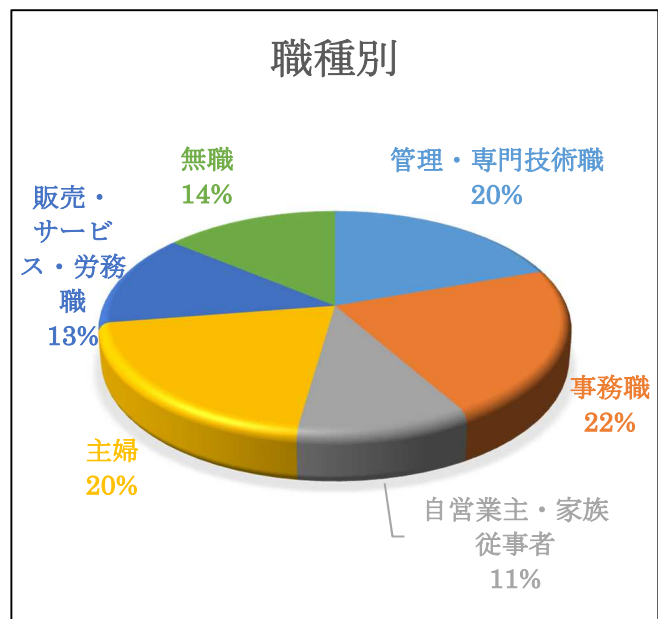
近畿：福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

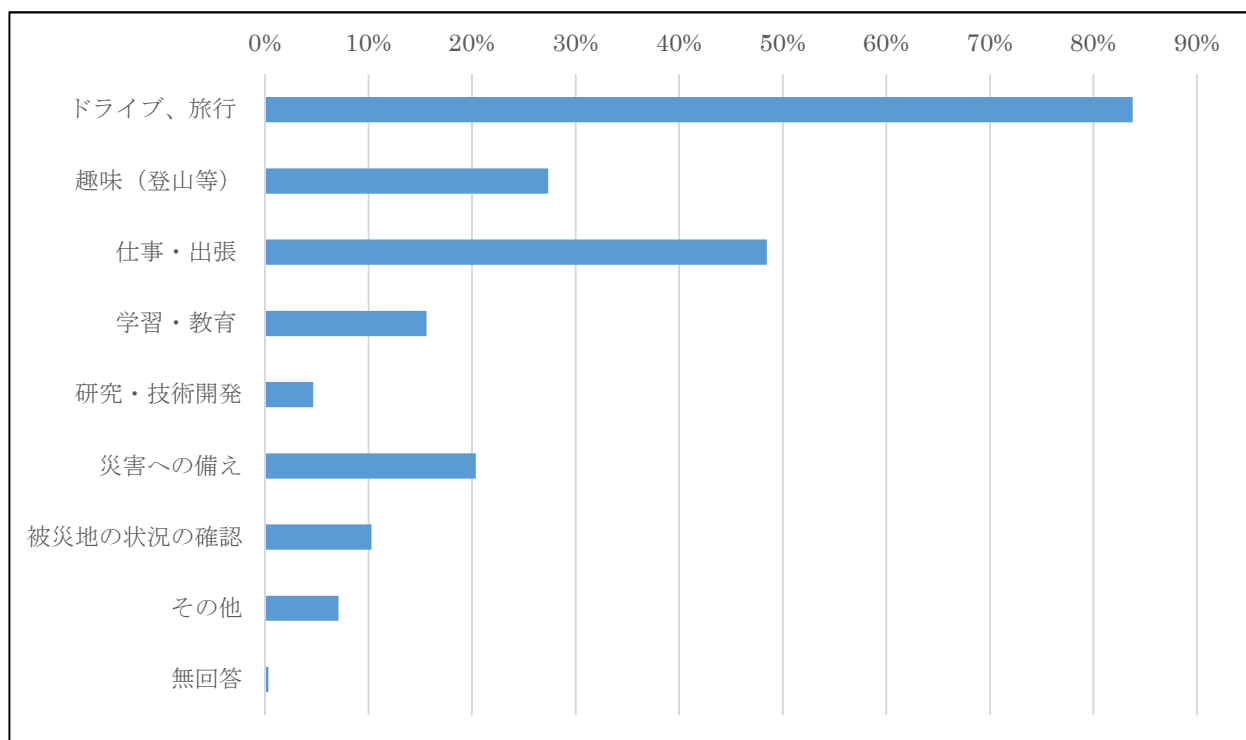
九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

職種	回答数（名）
管理・専門技術職	1 8 5
事務職	2 0 8
自営業主・家族従事者	1 0 0
主婦	1 9 1
販売・サービス・労務職	1 2 7
無職	1 3 2
計	9 4 3



問1 普段の生活の中で地図や空中写真をどのようなときに利用していますか。【複数選択可】
「8. その他」を選択した場合は、利用した事例を具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. ドライブ、旅行	7 9 0
2. 趣味（登山等）	2 5 8
3. 仕事・出張	4 5 7
4. 学習・教育	1 4 7
5. 研究・技術開発	4 4
6. 災害への備え	1 9 2
7. 被災地の状況の確認	9 7
8. その他	6 7
無回答	3

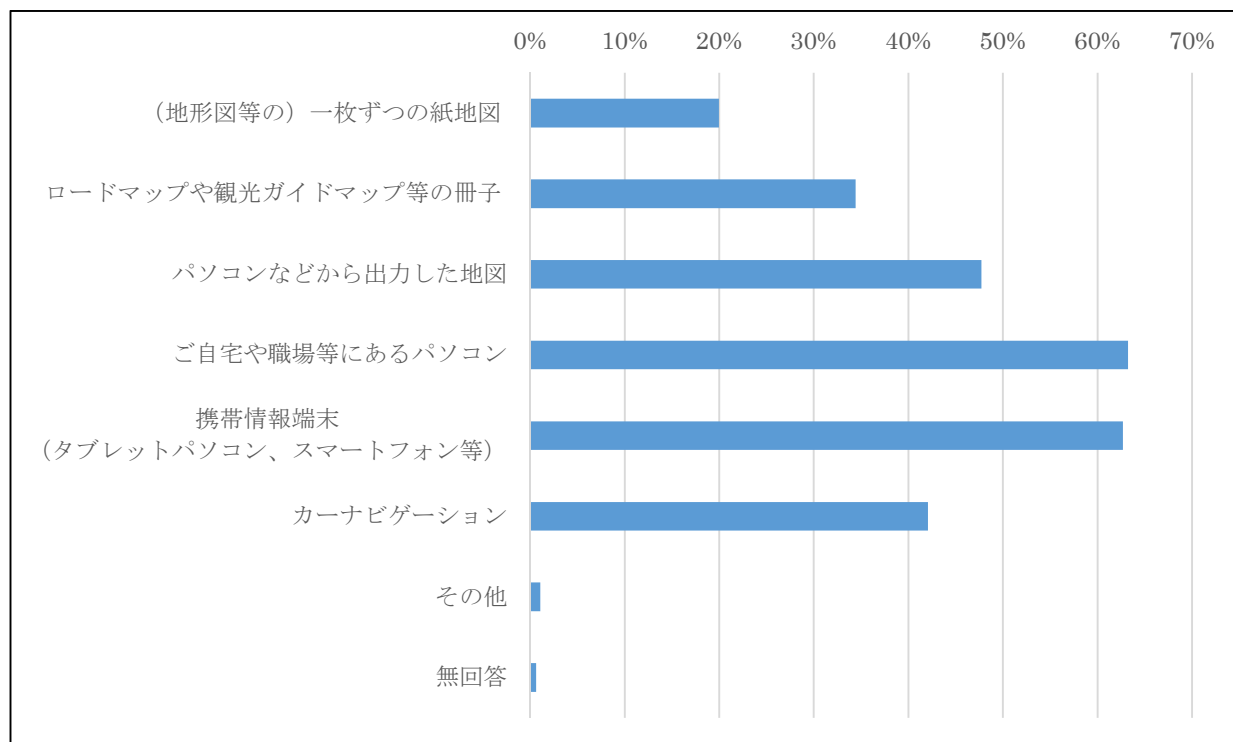


○その他の主たる回答としては、

- ・日常生活の中で買い物先、知人宅などの目的地までの経路検索。
- ・転居先の地形・環境などを確認するとき。
- ・待ち合わせ場所や外出先（飲食店、映画館など）の確認。
- ・まちづくり活動、ウォーキング会などの資料作成。
- ・危険個所の見極めなど、災害に備えた情報入手手段として利用。

問2 地図や空中写真（航空写真）を利用する際に紙や冊子、デジタル機器等どのような方法で利用していますか。【複数選択可】「7. その他」を選択した場合は具体的な媒体や機器をお書きください。

回 答	回答数(名)
1. (地形図等の) 一枚ずつの紙地図	1 8 8
2. ロードマップや観光ガイドマップ等の冊子	3 2 4
3. パソコンなどから出力した地図	4 4 9
4. ご自宅や職場等にあるパソコン	5 9 5
5. 携帯情報端末 (タブレットパソコン、スマートフォン等)	5 9 0
6. カーナビゲーション	3 9 6
7. その他	1 0
無回答	6

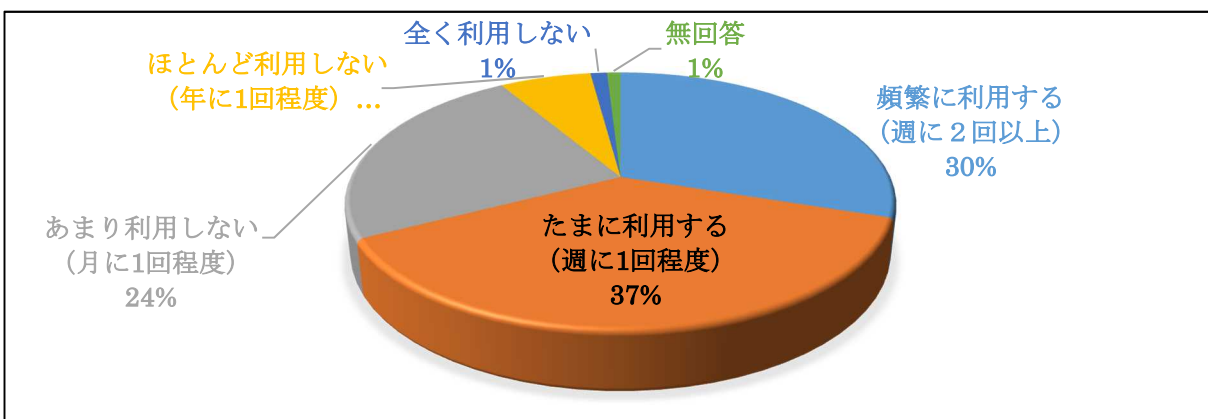
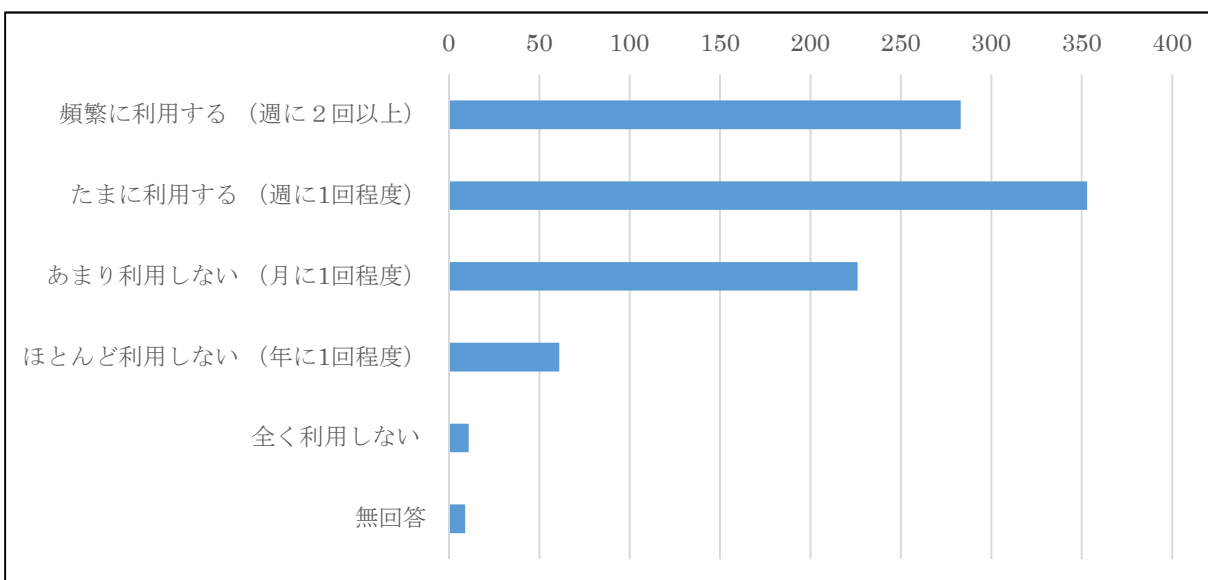


○その他の主たる回答としては、

- ・旅行雑誌。
- ・利用していない。

問3 普段の生活の中でパソコン・スマートフォンなどインターネットを経由して地図や空中写真（航空写真）をしていますか。

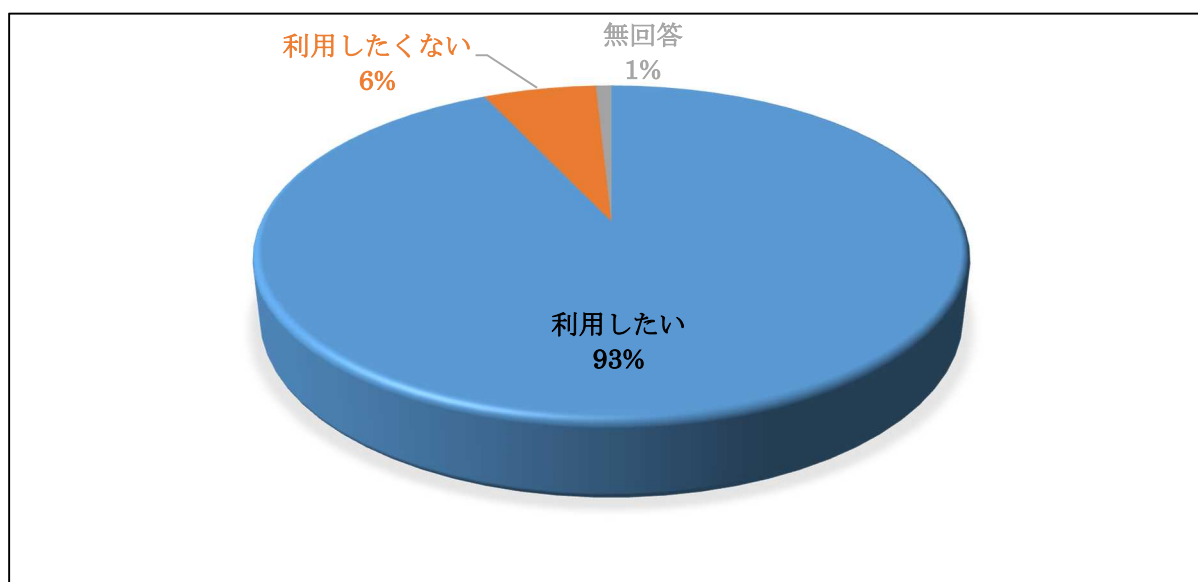
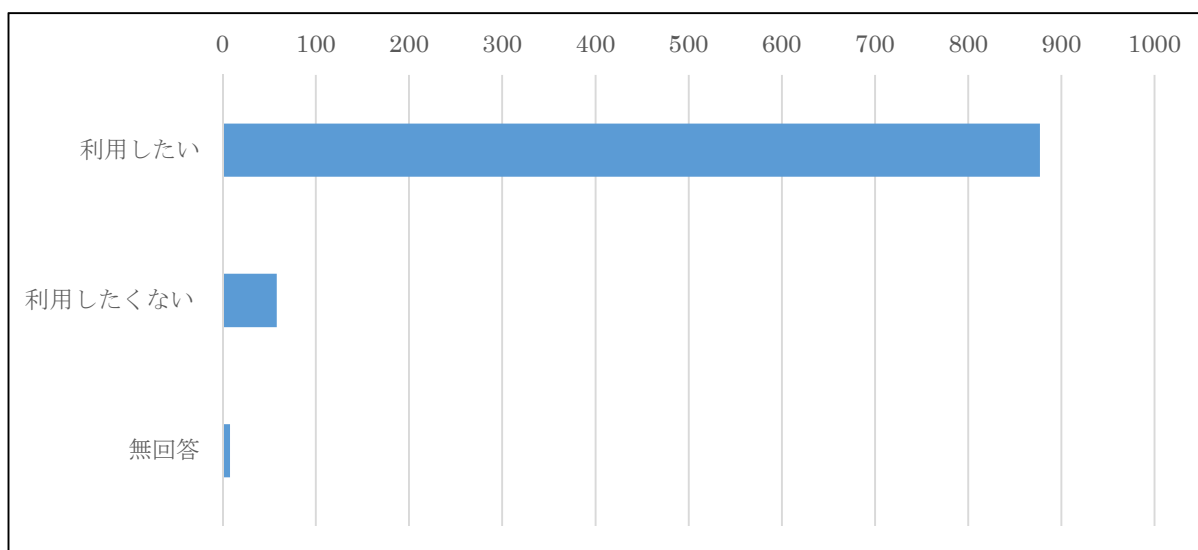
回 答	回答数（名）
1. 頻繁に利用する（週に2回以上）	283
2. たまに利用する（週に1回程度）	353
3. あまり利用しない（月に1回程度）	226
4. ほとんど利用しない（年に1回程度）	61
5. 全く利用しない	11
無回答	9



○週1回程度以上、地図や空中写真（航空写真）を利用されると回答した者は、636名で全体の約67%であることがわかりました。

問4 身の回りの土地の成り立ちの情報や、避難経路の高低差などが簡単に見て判り、水害や土砂災害などの防災に役立つ Web 地図サイトがあったら利用したいと思いますか。

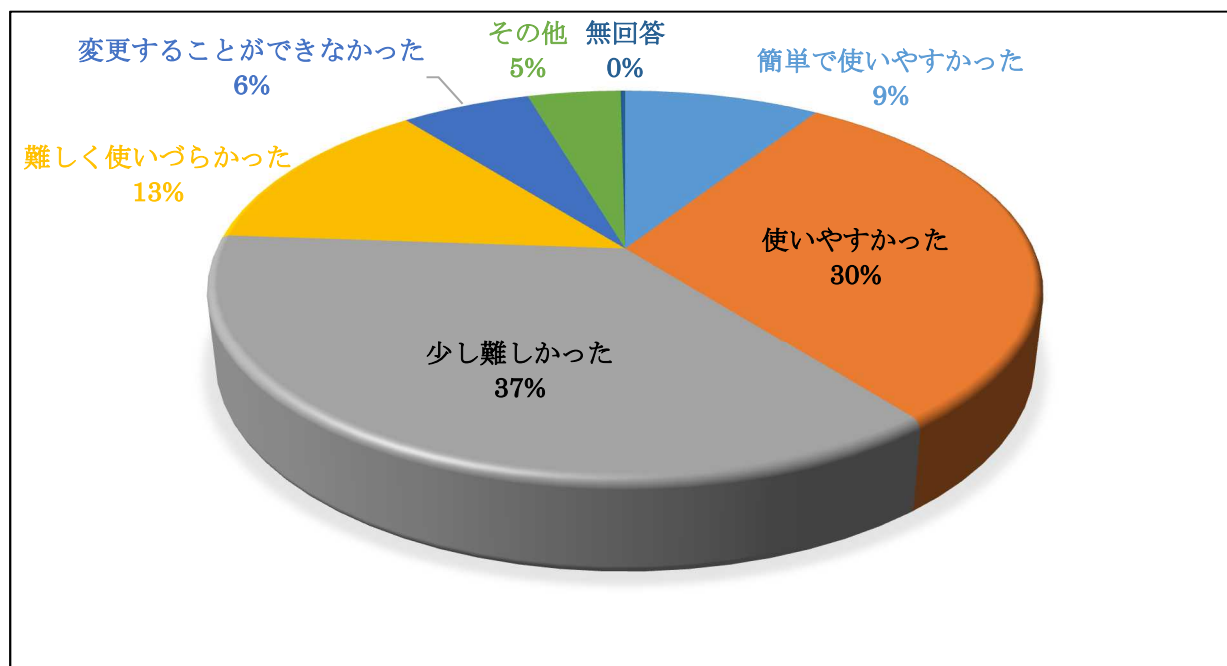
回 答	回答数（名）
1. 利用したい	8 7 7
2. 利用したくない	5 8
無回答	8



○利用したいと回答した者は、877名で全体の約93%であることがわかりました。

問5 参考資料1に示した地理院地図(自分で作る色別標高図)のURLにアクセスしてください。
自分の好きな色で標高に色づけができる機能があります。参考資料1にしたがって自由に色を変更してみてください。操作方法について、感想をお聞かせください。「6. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数 (名)
1. 簡単で使いやすかった	8 6
2. 使いやすかった	2 8 6
3. 少し難しかった	3 4 6
4. 難しく使いづらかった	1 2 5
5. 変更することができなかった	5 7
6. その他	4 1
無回答	2



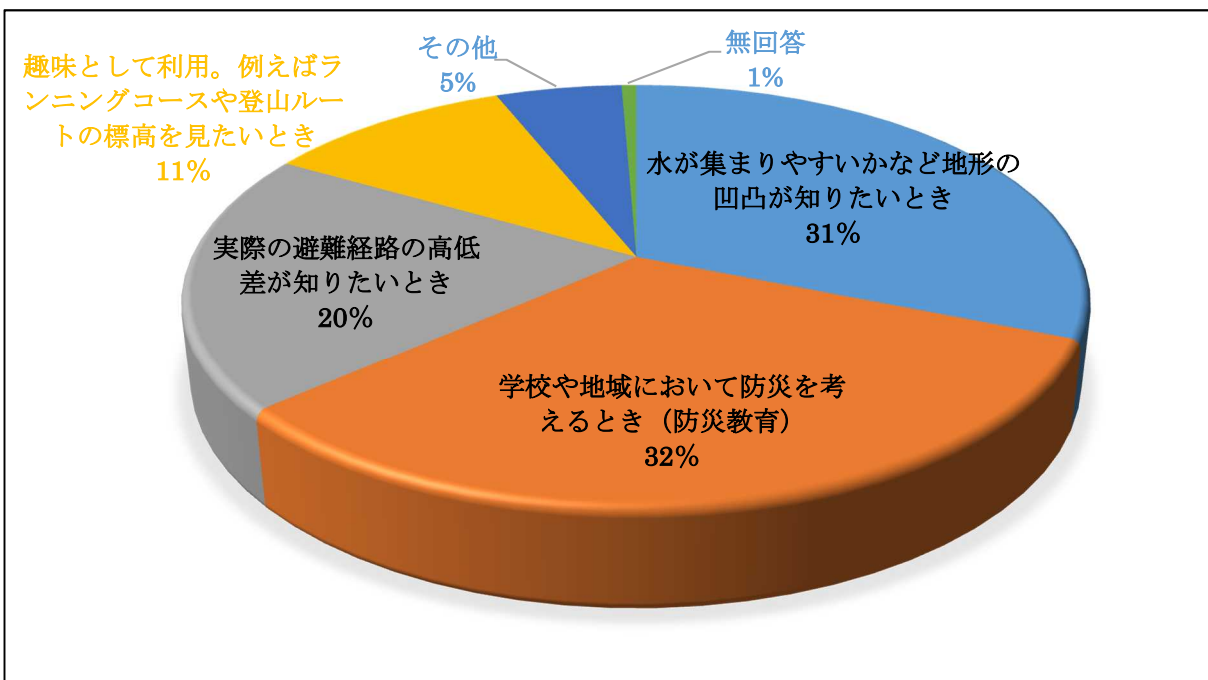
○「簡単で使いやすかった」または「使いやすかった」と回答した者は、372名で全体の約39%であることがわかりました。

○その他の主たる回答としては、

- ・ 代表的な色をパレット表示して選択できれば、もっと簡便で良いと思う。
- ・ ボタンの「解説」と「スタイル変更」が色を変更する手順に必要なだと気付きにくかった。
- ・ 参考資料があったので操作できたが、地理院地図には解説が少なく、操作しづらい。
- ・ 最初はわかりにくかったが、慣れてくると楽しく色々試せた。
- ・ 操作自体は比較的簡単であったが、色分けが思ったように上手くいかなかった。

問6 問5の標高に色付けできる機能が、どのような場面（分野）で利用できると思いますか。「5. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 水が集まりやすいかなど地形の凹凸が知りたいとき	294
2. 学校や地域において防災を考えるととき（防災教育）	304
3. 実際の避難経路の高低差が知りたいとき	188
4. 趣味として利用。例えばランニングコースや登山ルート の標高を見たいとき	100
5. その他	51
無回答	6

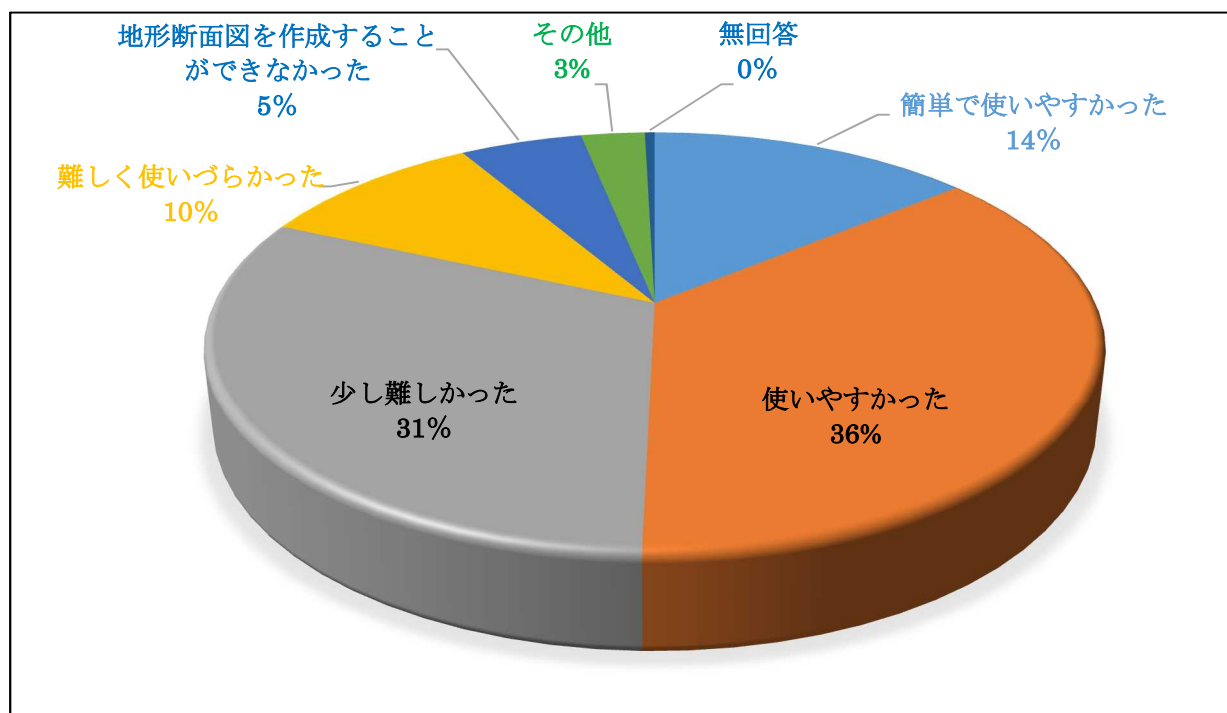


○その他の主たる回答としては、

- ・回答選択肢のすべてで利用できる。
- ・色覚異常の方でも自分で作成することでわかり易くなる。
- ・津波の到達可能性がある地域の把握。
- ・学校教育において国土の地形を学習するとき。
- ・転居の際、学校や住居を決める参考にしたい。

問 7 次に、参考資料 2 に示した地理院地図(地形断面図作成)の URL にアクセスしてください。
 ルートの高低差がわかる地形断面図を参考資料 2 にしたがって操作し作成してみてください。
 操作方法について、感想をお聞かせください。「6. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数 (名)
1. 簡単で使いやすかった	1 3 2
2. 使いやすかった	3 4 3
3. 少し難しかった	2 9 5
4. 難しく使いづらかった	9 3
5. 地形断面図を作成することができなかった	5 0
6. その他	2 6
無回答	4



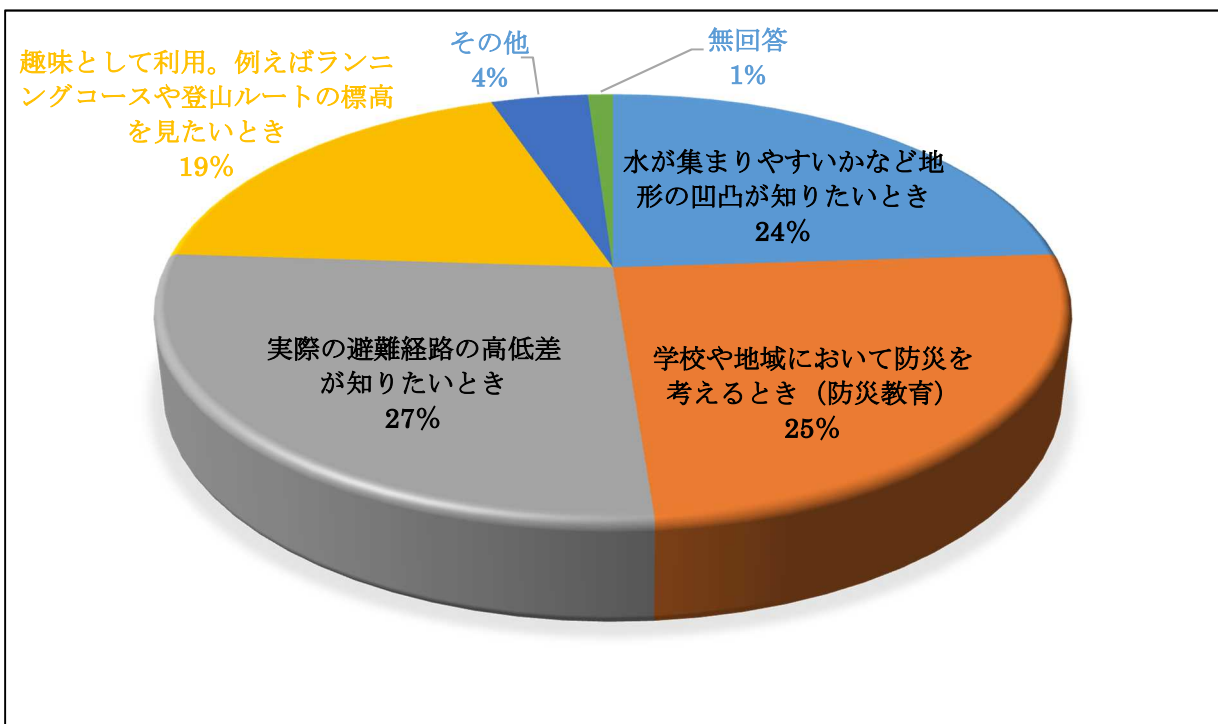
○「簡単で使いやすかった」または「使いやすかった」と回答した者は、4 7 5名で全体の約 5 0 %であることがわかりました。

○その他の主たる回答としては、

- ・簡単で使いやすかったが、標高の補助線が入ると見やすいと感じた。
- ・経路の中継点に記号を付けて、断面図上にその記号が表示されるともっと良い。
- ・操作は簡単だが、断面図で地図が隠れるのでどの地点がどこかの判断がしづらい。

問8 問7のルートの高低差がわかる機能が、どのような場面（分野）で利用できると思いますか。「5. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 水が集まりやすいかなど地形の凹凸が知りたいとき	2 2 6
2. 学校や地域において防災を考えるとき（防災教育）	2 3 4
3. 実際の避難経路の高低差が知りたいとき	2 5 7
4. 趣味として利用。例えばランニングコースや登山ルート の標高を見たいとき	1 7 7
5. その他	3 9
無回答	1 0

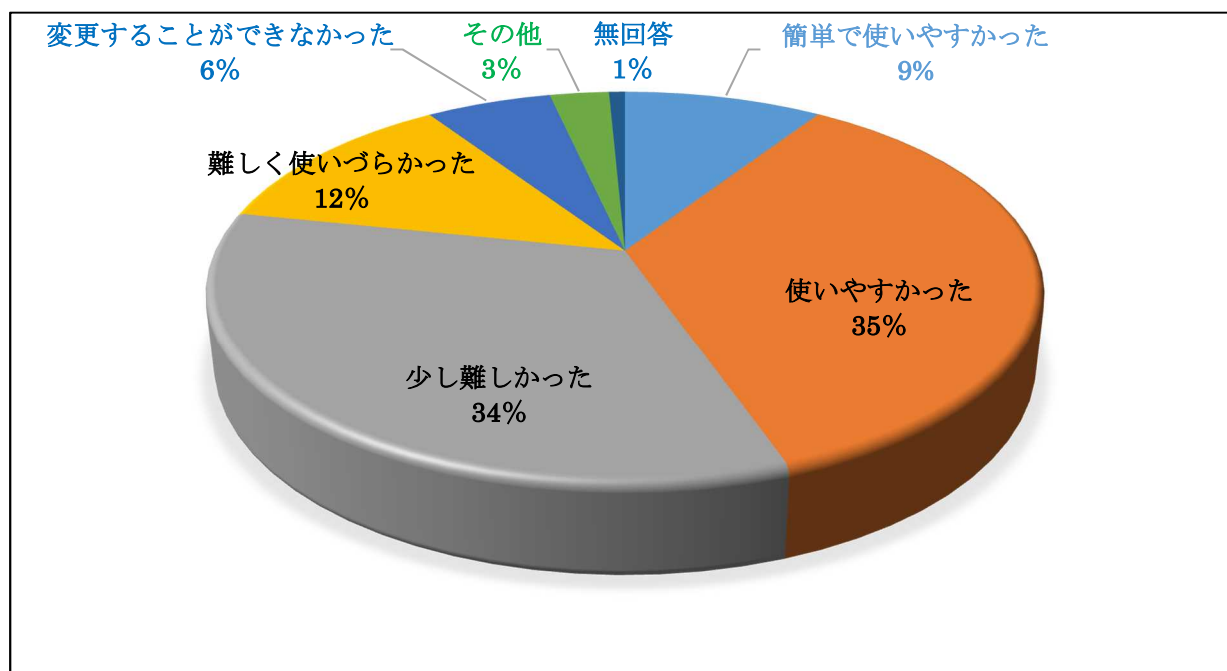


○その他の主たる回答としては、

- ・地形断面が容易に得られることで急傾斜地や地滑り、土砂災害の危険性のある谷の深さなど、災害を予知する上で必要不可欠。
- ・自転車での通勤通学経路。
- ・行ったことがない場所の高低差の予測や勾配予測。

問9 次に、参考資料3に示した地理院地図(2画面表示)のURLにアクセスしてください。同一地点の過去と現在の地図や、地図と空中写真などを左右の2画面で表示できる機能を、参考資料3にしたがって操作し表示してみてください。操作方法について、感想をお聞かせください。「6. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数(名)
1. 簡単で使いやすかった	8 7
2. 使いやすかった	3 3 4
3. 少し難しかった	3 1 7
4. 難しく使いづらかった	1 1 7
5. 変更することができなかった	5 5
6. その他	2 6
無回答	7



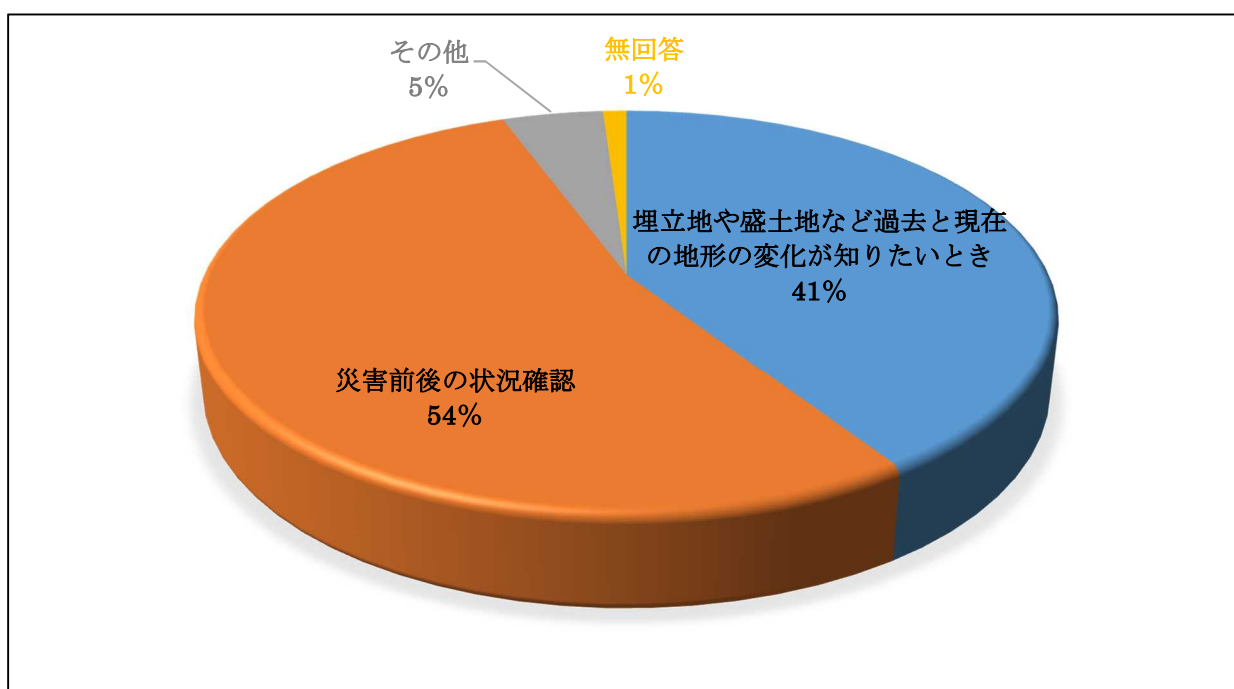
○「簡単で使いやすかった」または「使いやすかった」と回答した者は、421名で全体の約45%であることがわかりました。

○その他の主たる回答としては、

- ・2画面表示をするための階層を断面図の階層と同じように 機能→2画面表示 にした方がとてもわかりやすいと思う。2画面表示の操作は直感的でわかりやすいと思います。
- ・難しくはないが、変更するまでの工程が多い。
- ・この機能は素晴らしいが、選択肢の階層が深いのが悩ましい所。予め階層をどこかに書いておくとかした方が良い気もする。

問10 問9の左右2画面で表示する機能が、どのような場面（分野）で利用できると思いますか。「3. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 埋立地や盛土地など過去と現在の地形の変化が知りたいとき	385
2. 災害前後の状況確認	505
3. その他	43
無回答	10

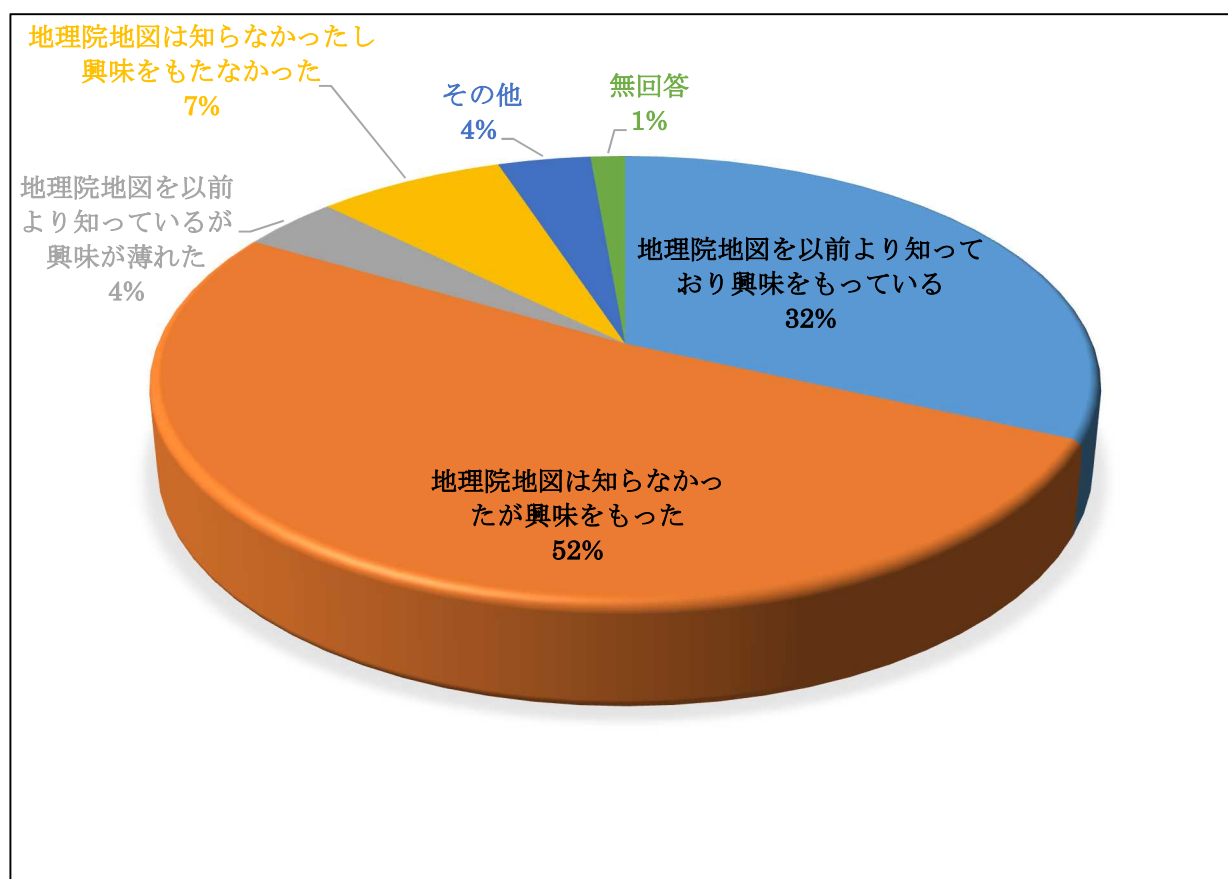


○その他の主たる回答としては、

- ・ 災害の発生前後の変化や過去の地形の変化はもちろん、治水地形分類図と重ねることによって、災害の脆弱性を確認したり、空中写真同士を比較したりすることによって都市の発達といった地理教育の側面でも利用ができ、利用できる場面はとて多いように感じる。
- ・ 植生の変化、砂浜の後退。
- ・ 学校の歴史学習、地域の過去と現在の比較（地理の授業等）。
- ・ 家を建てるときのその土地の成り立ち。

問 1 1 問 5 から問 10 でお聞きした機能を使用した感想をお聞かせください。「5. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 地理院地図を以前より知っており興味をもっている	3 0 0
2. 地理院地図は知らなかったが興味をもった	4 8 7
3. 地理院地図を以前より知っているが興味が薄れた	3 7
4. 地理院地図は知らなかったし興味をもたなかった	7 1
5. その他	3 5
無回答	1 3



○地理院地図に対して、継続して興味をもっている者と新たに興味をもっていただいた者として回答した者は、7 8 7名で全体の約 8 4 %であることがわかりました。

○その他の主たる回答としては、

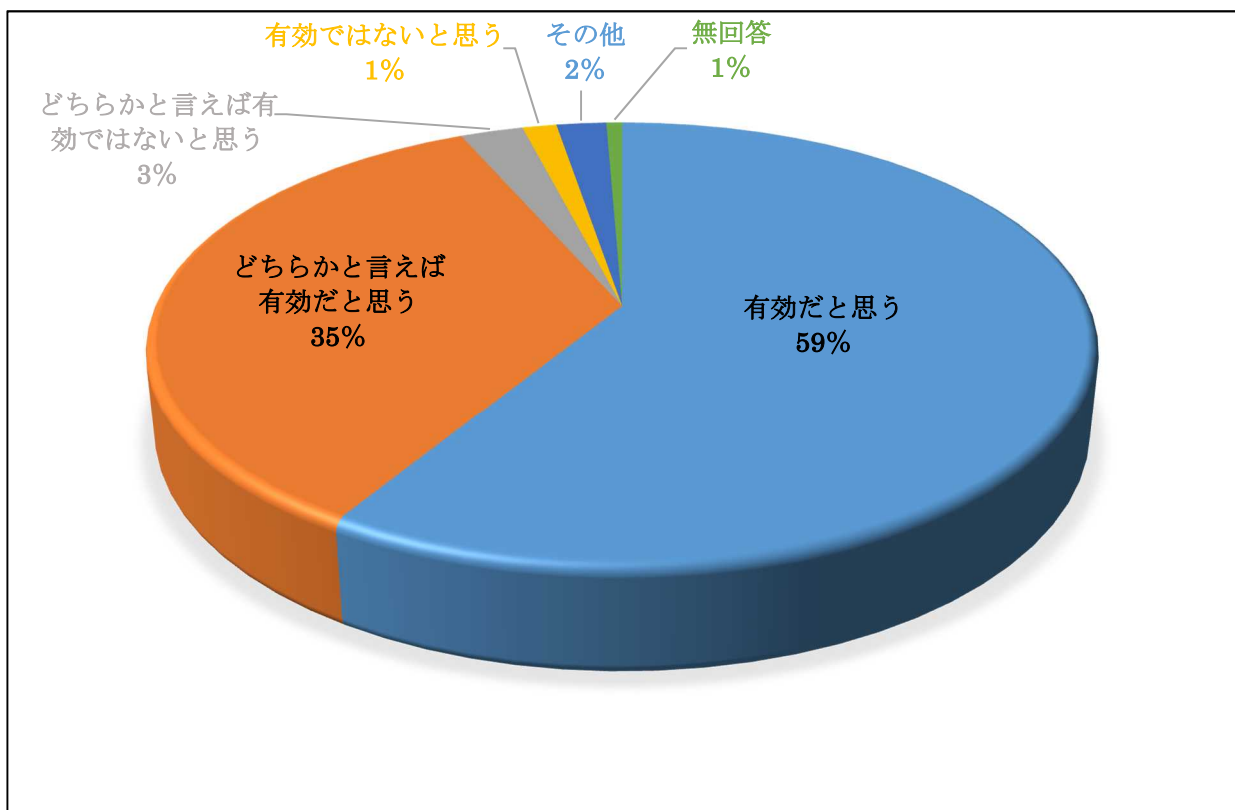
- ・地理院地図は知っていたが、技術の向上に驚いた。
- ・誰でも簡単に操作できるように。

問 1 2 国土地理院の提供する Web 地図サイト(地理院地図) の良い点や改善すべき点がありましたら、具体的にお書きください。

- ・見やすくて良いです
- ・色や断面図、写真の比較ができる点が便利でよかった。
- ・以前に比べ、だれもが理解できて使えるように工夫されるようになっている。簡単に必要な情報が入手できることは良い。
- ・いい商品も活用されなければ意味がないように思います。充実バージョンのほかに、登った標高差が簡単にわかるなど、特定需要に答えるお手軽バージョンなどがあると良い。
- ・本格的なバージョンと操作しやすい簡易バージョンがあると嬉しい。
- ・災害対策だけでなく幅広く活用できる。積極的に国民にこの存在や活用を伝えていくべき。
- ・普段アクセスする事がなかったが、便利機能があることが分かり、今後使ってみようと思う。
- ・無償でこれだけのものが利用できるのは、とても良い。もっと宣伝すべきだと思う。
- ・誰でも地図を編集し、自分の使いやすいように変更できる点が、とてもよいと思う。昔なら考えられない機能であり、時代の変化に適応していると感じた。
- ・国土地理院にこのような Web 地図サイトがあることを知りませんでした。これらの機能は大変便利だと思います。災害対策や、次にまた災害があった時に、大いに役に立つと思います。是非利用したいと思いました。
- ・スマートフォンで操作すると、情報量が多くメニューやポップアップウィンドウ画面がごちゃごちゃして理解しにくかった。もっとユニバーサルデザインにし、誰もが容易に使用できるとよいと思う。
- ・設定項目が「解説」ボタン内にあるのは使いづらいと感じた。(色別標高図等)
- ・もっと認知度が上がるような取り組みがあると良いと思います。
- ・手元に使い方の分かる冊子(解説書)があれば便利では。
- ・機能は便利だが、用語が多く意味がわからない部分があるのが使いづらい。
- ・通信環境の影響かもしれませんが、もう少し動作が早ければうれしいです。
- ・大人には今のままだでも十分なので、子ども用に表示切替ができる機能があっても良い。
- ・このような Web サイトがあることを知らなかったため、便利さが広く伝わるような広報活動に力を入れると良いと感じた。
- ・もっと簡単に使えるようにしてほしい。
- ・詰め込みすぎて UI が煩雑になっているような気がする。機能を絞り込んで、何個かにわけたほうがいいかもしれない。例えば、災害前後を確認できる地図サイト、標高を色付けできる地図サイト、避難経路の高低差を知る地図サイトなど。

問 1 3 お住まいの地域やゆかりのある場所について、谷地（くぼ地）に盛土をしているために災害に弱い土地であることや、土地利用の状況などを知るには古い地図や古い空中写真（航空写真）は有効だと思いますか。「5. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 有効だと思う	5 5 4
2. どちらかと言えば有効だと思う	3 2 7
3. どちらかと言えば有効ではないと思う	2 4
4. 有効ではないと思う	1 3
5. その他	1 9
無回答	6



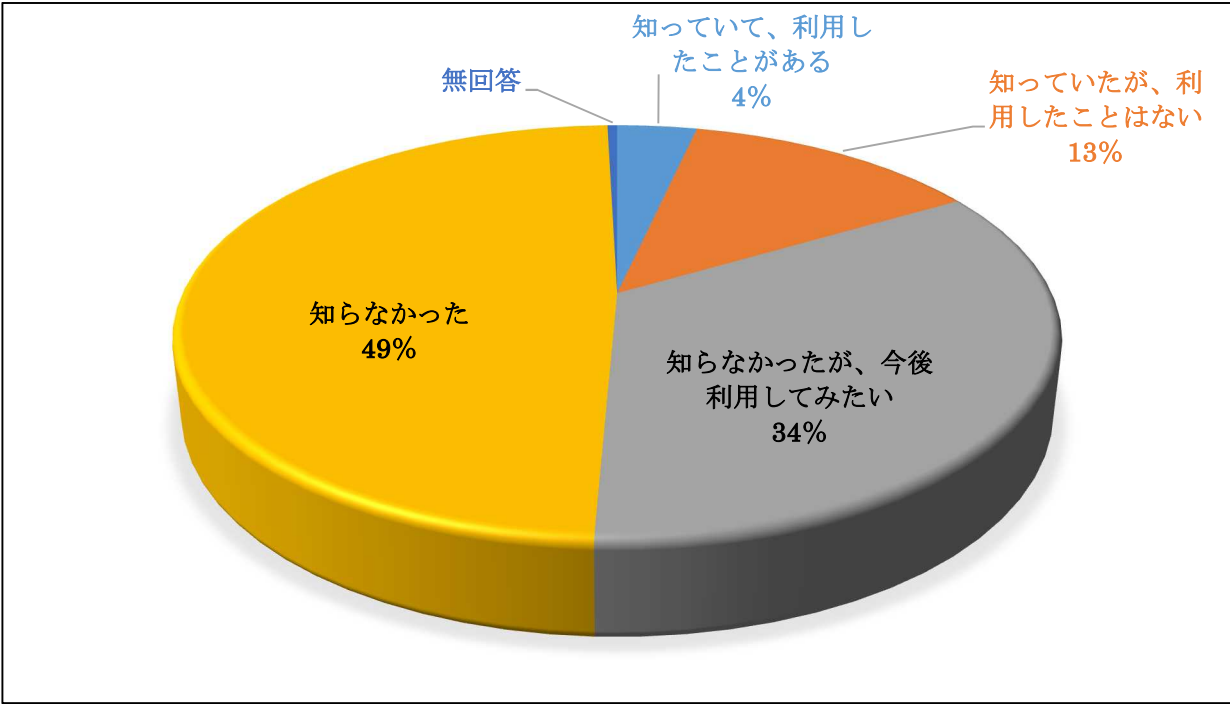
○災害に弱い土地や土地利用の状況把握に有効だと思うとどちらかと言えば有効だと思うと回答した者は、881名で全体の約94%であることがわかりました。

○その他の主たる回答としては、

- ・活用事例（説明書き）があると良い。
- ・有効だと思うが、利用者がわかるために知名度を上げる必要がある。

問 1 4 国土地理院情報サービス館（茨城県つくば市）や全国 1 0 箇所の地方測量部・支所では、明治 2 3 年以降に国土地理院が整備した約 9 万枚の古い地図のコピー（謄本交付）を入手することが出来ます。そのサービスを知っていましたか。

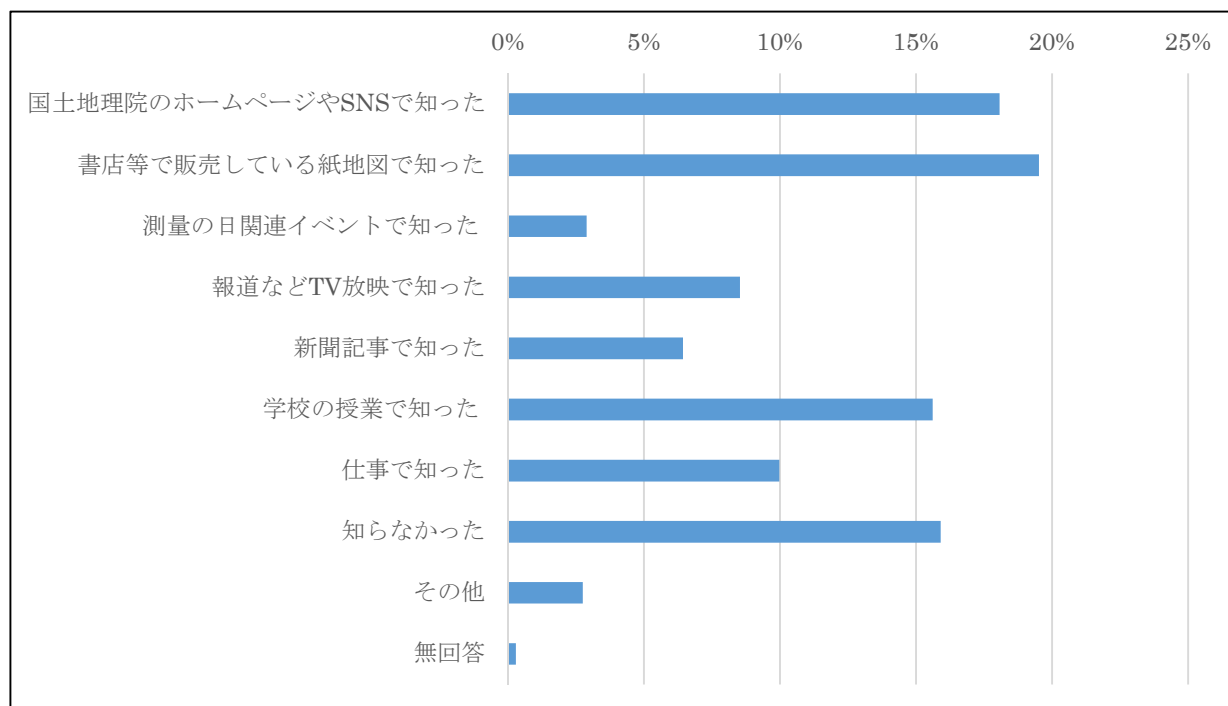
回 答	回答数（名）
1. 知っていて、利用したことがある	3 3
2. 知っていたが、利用したことはない	1 2 3
3. 知らなかったが、今後利用してみたい	3 2 2
4. 知らなかった	4 6 1
無回答	4



○国土地理院が整備した古い地図のコピー（謄本交付）で入手することが、以前から知っていた者は 1 5 6 名で全体の約 1 7 %であることがわかりました。また、本アンケートをきっかけに入手できることを知り今後利用してみたいと回答した者が 3 2 2 名で全体の約 3 4 %であったことがわかりました。

問 1 5 国土地理院は、地図と測量に関するさまざまな業務を行っております。国土地理院の行っている業務を何で知りましたか。【複数選択可】「9. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 国土地理院のホームページや SNS で知った	2 5 0
2. 書店等で販売している紙地図で知った	2 7 0
3. 測量の日関連イベントで知った	4 0
4. 報道など TV 放映で知った	1 1 8
5. 新聞記事で知った	8 9
6. 学校の授業で知った	2 1 6
7. 仕事で知った	1 3 8
8. 知らなかった	2 2 0
9. その他	3 8
無回答	4

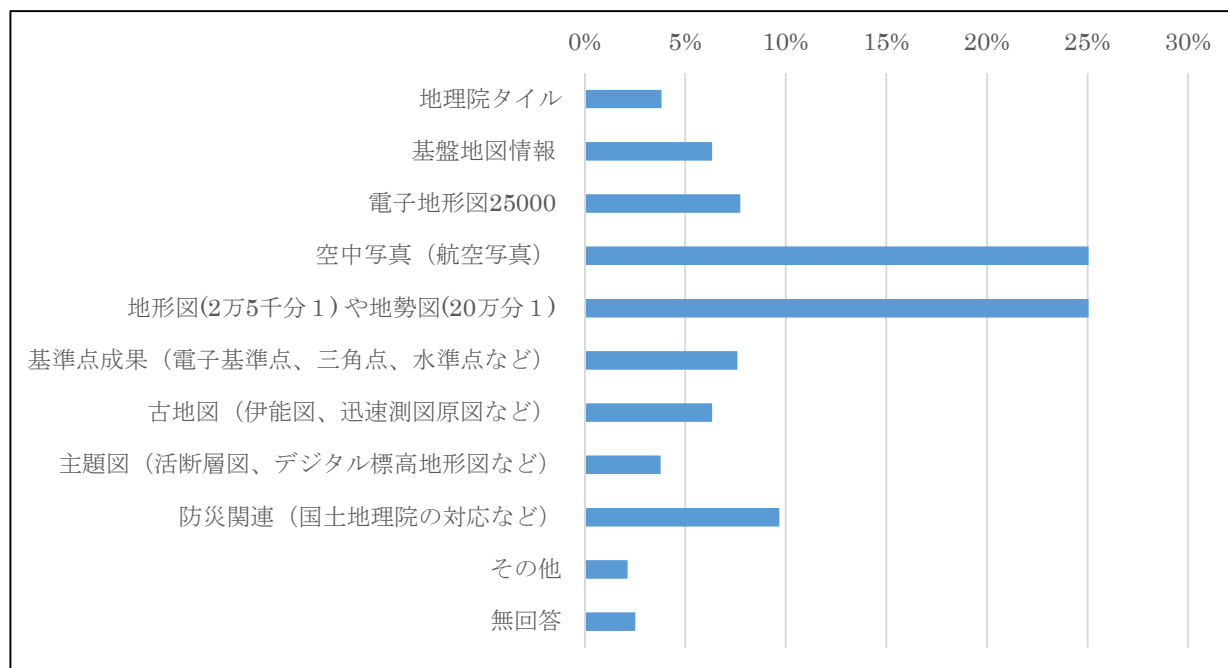


○その他の主たる回答としては、

- ・このアンケートで知った。
- ・国土地理院の施設見学（地図と測量の科学館）で知った。

問 1 6 国土地理院が提供している以下の地理空間情報で知っているものはありますか。【複数選択可】「10. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 地理院タイル	7 9
2. 基盤地図情報	1 3 1
3. 電子地形図 25000	1 6 0
4. 空中写真（航空写真）	5 1 8
5. 地形図(1 万分 1、2 万 5 千分 1、5 万分 1) や地勢図(20 万分 1)	5 1 8
6. 基準点成果（電子基準点、三角点、水準点など）	1 5 7
7. 古地図（伊能図、迅速測図原図など）	1 3 1
8. 主題図（活断層図、デジタル標高地形図、火山基本図、湖沼図など）	7 8
9. 防災関連（最近の災害関連情報、地震に関する国土地理院の対応など）	2 0 0
1 0. その他	4 4
無回答	5 2



○その他の主たる回答としては、

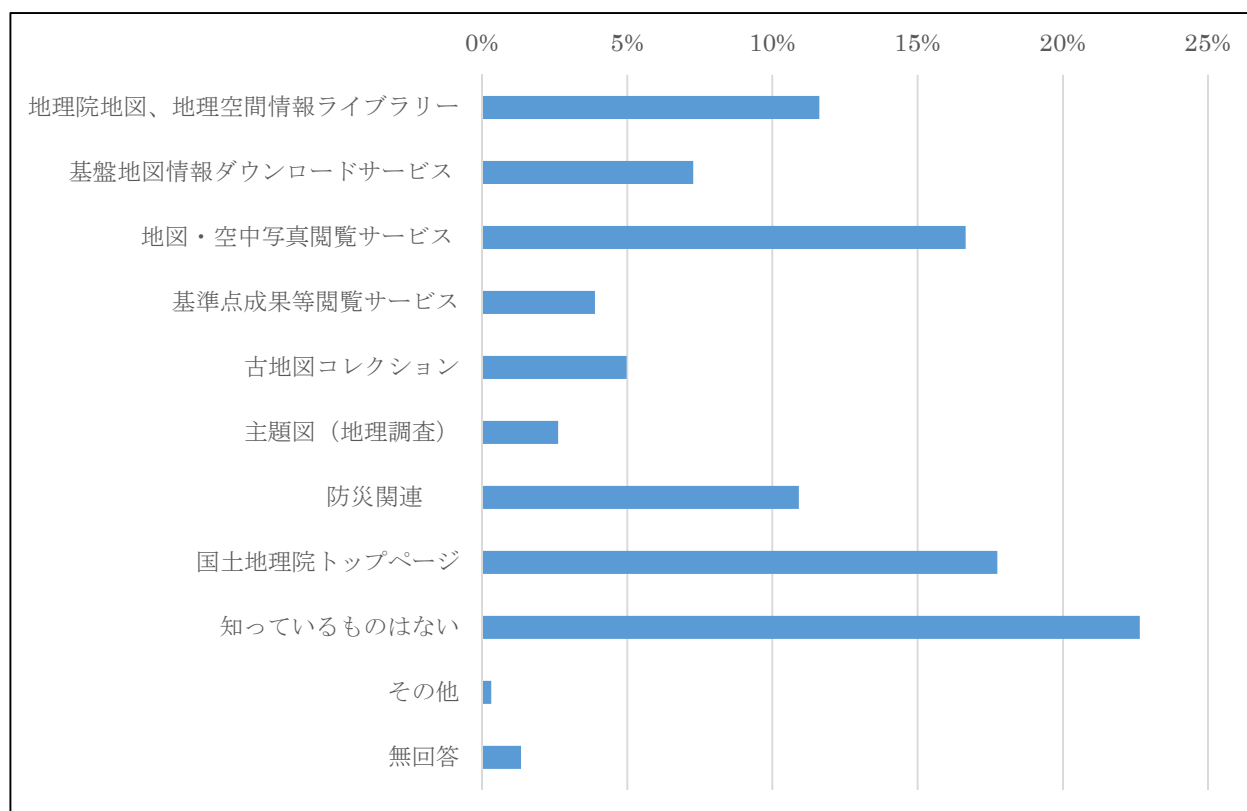
- ・知っているものはない。

問 1 7 国土地理院が運営している Web サイトで知っているものはありますか。

【複数選択可】（参考資料 4 も参照ください）

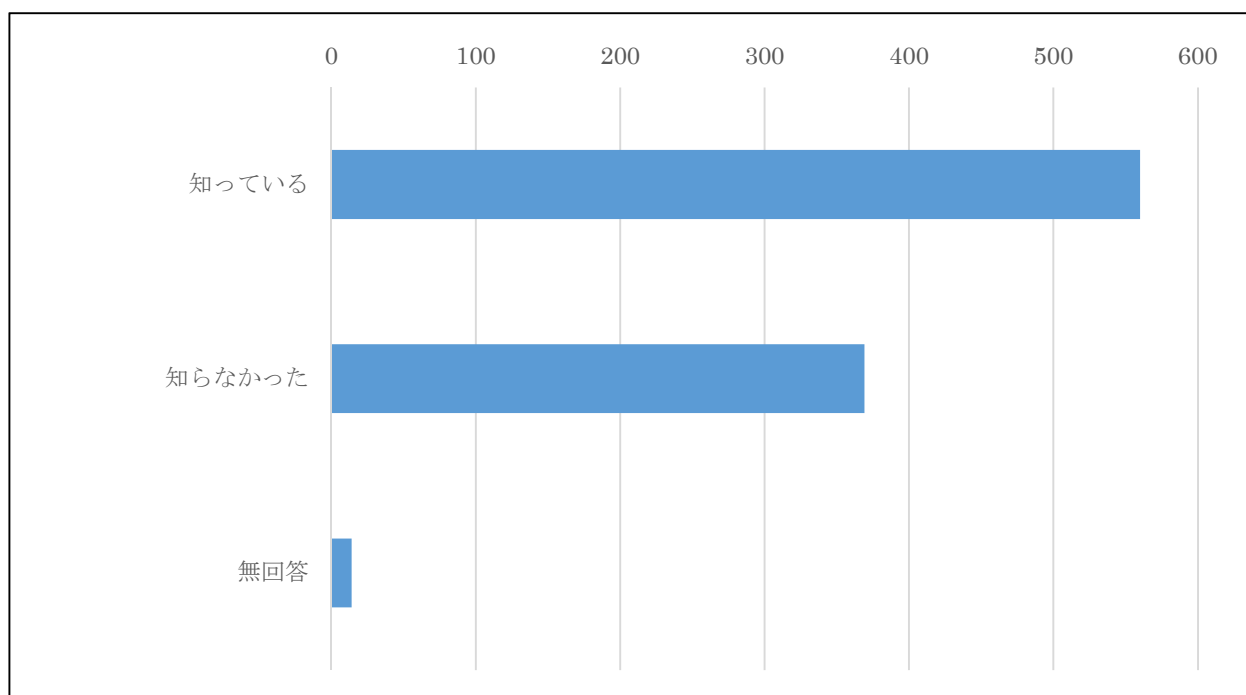
「10. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. 地理院地図、地理空間情報ライブラリーの Web 地図サイト	1 8 2
2. 基盤地図情報ダウンロードサービス	1 1 4
3. 地図・空中写真閲覧サービス	2 6 1
4. 基準点成果等閲覧サービス	6 1
5. 古地図コレクション	7 8
6. 主題図（地理調査）	4 1
7. 防災関連	1 7 1
8. 国土地理院トップページ	2 7 8
9. 知っているものはない	3 5 5
1 0. その他	5
無回答	2 1



問 18 国土地理院より刊行している最新の紙地図は、全国の地図販売店（主に書店など）で取り扱われていることをご存知でしたか。

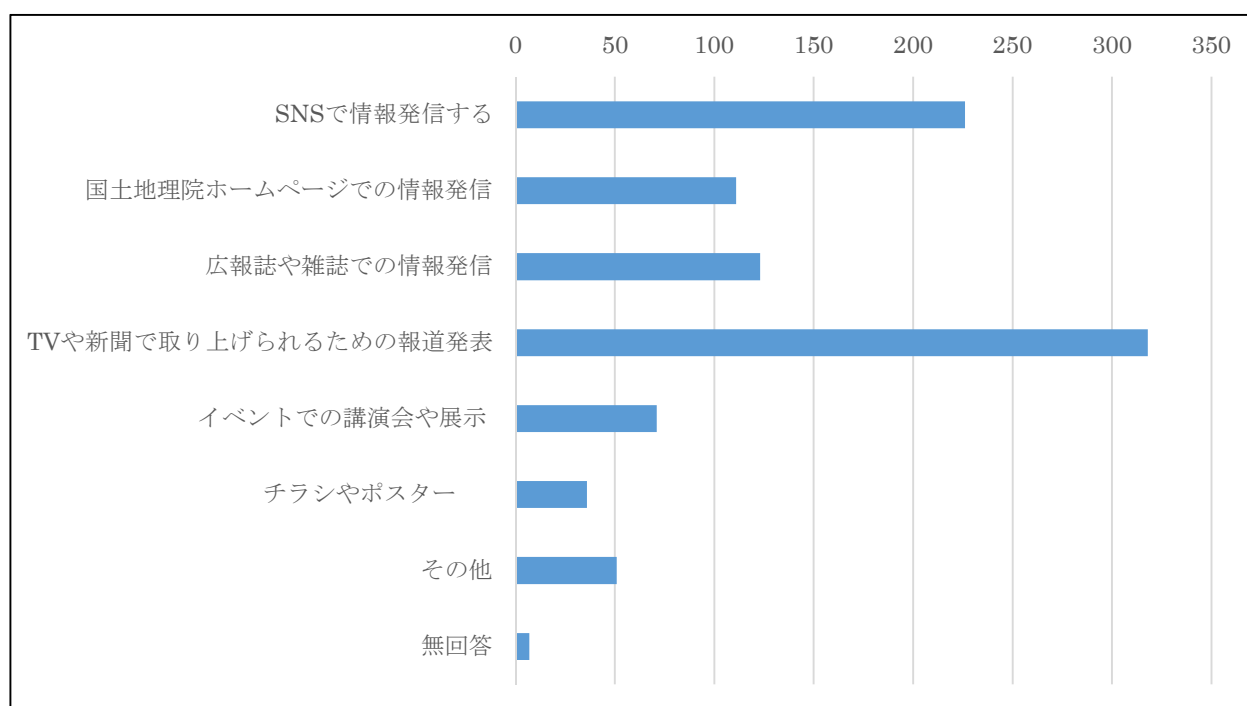
回 答	回答数（名）
1. 知っている	560
2. 知らなかった	369
無回答	14



○国土地理院より刊行している最新の地形図を全国の地図販売店（主な書店など）で取り扱われていることを知っていると回答した者は、560名で約60%であることがわかりました。

問 1 9 国土地理院では地図・空中写真（航空写真）などの地理空間情報の普及・啓発に取り組んでいますが、様々な地理空間情報の存在や閲覧の方法を広くお知らせする方法として、どのような手段が効果的だと思いますか。「7. その他」を選択した場合は具体的にお書きください。

回 答	回答数（名）
1. SNS で情報発信する	2 2 6
2. 国土地理院ホームページでの情報発信	1 1 1
3. 広報誌や雑誌での情報発信	1 2 3
4. TV や新聞で取り上げられるための報道発表	3 1 8
5. イベントでの講演会や展示	7 1
6. チラシやポスター	3 6
7. その他	5 1
無回答	7



○その他の主たる回答としては、

- ・行政の市報、マップ提供企業とコラボ。
- ・アプリにしてダウンロードして簡単にアクセスできるようにする。
- ・地図を使うスポーツとのタイアップ。トレランやサイクリング、トレッキング等。